



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月30日

上場取引所 東

上場会社名 理研ビタミン株式会社

コード番号 4526 URL <http://www.rikenvitamin.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 堺 美保

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 堀井 滋

TEL 03-5275-5111

四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	56,131	△4.9	2,340	△50.1	2,591	△45.9	1,304	△39.7
23年3月期第3四半期	59,024	1.7	4,687	18.3	4,788	18.1	2,161	0.9

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 856百万円 (5.1%) 23年3月期第3四半期 814百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	57.55	—
23年3月期第3四半期	95.39	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	85,148	55,178	64.4
23年3月期	82,449	55,140	66.5

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 54,873百万円 23年3月期 54,817百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	18.00	—	18.00	36.00
24年3月期	—	18.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	18.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	75,500	△3.1	2,800	△50.0	3,000	△47.5	1,400	24.6	61.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(平成24年1月30日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料3ページ「2.サマリー情報(その他)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期3Q	23,652,550 株	23年3月期	23,652,550 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年3月期3Q	992,122 株	23年3月期	992,213 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	22,660,428 株	23年3月期3Q	22,660,544 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による経済環境の急激な悪化から緩やかな回復への足取りをみせているものの、欧州地域の金融不安をうけた世界的な景気の停滞、円高の進行に加え、電力供給の制約や原子力災害の影響など、その先行きは不透明な状況で推移しました。

このたびの震災に対して、当社グループは、被災した子会社である理研食品㈱の「復旧・復興計画」を策定し、事業の再開に向けた各種対応を着実に進めてまいりました。

本社工場（宮城県多賀城市）では、「わかめスープ10袋入り」（6月初旬）を皮切りに順次生産を再開し、10月以降、「カットわかめ（乾燥わかめ）」を除く全ての生産ラインにて通常生産を行っております。また「カットわかめ」の生産ラインにつきましても、平成24年2月の生産再開を予定しております。

新港工場（宮城県仙台市）では、9月末より加工食品用原料の一部生産を再開いたしました。また、市販ドレッシング（190ml）については、協力会社での代替生産を実施するとともに、理研ビタミン㈱草加工場に設備投資を行い、平成24年2月の稼働を予定しております。

この「復旧・復興計画」における当社グループに与える影響としましては、設備投資として、第3四半期連結会計期間末時点で総額25億円を予定（既に着工及び完了した案件を含みます。）しております。また第3四半期連結累計期間の特別損失に、被災資産の原状回復にかかる費用や操業休止期間中の固定費などの損失から損害保険金額を控除した4億1200万円を「災害による損失」として計上しております。

このような状況下における当第3四半期の業績につきましては、売上高では、海外売上高は、「シンガポール」及び「中国」に拠点を構える販売会社で前年同期比2桁の伸長をみせるなど引き続き好調に推移いたしました。一方、国内売上高は、被災した「わかめ事業」及び「ドレッシング事業」につきましても、グループ会社及び協力会社における代替生産の実施と理研食品㈱における生産ラインの復旧に伴う商品供給量の確保により、第2四半期の中ごろからは売上が回復傾向で推移したものの、前年同期との比較では大幅な落ち込みとなりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は561億3100万円（前年同期比28億9200万円、4.9%減）となりました。

利益面では、生産量の低下と節電対策の実施によりエネルギー費が減少し、また販売量の低下に伴う物流費の減少に加え、震災後の販促活動の一時的な縮小により販売促進費・広告宣伝費が減少いたしました。売上高の減少分が上回ったことにより、営業利益は23億4000万円（前年同期比23億4700万円、50.1%減）、経常利益は25億9100万円（前年同期比21億9600万円、45.9%減）となりました。

四半期純利益は、特別利益にて、前期に発生した自主回収関連費用に対する補償金2億7400万円などを計上し、特別損失にて、災害による損失4億1200万円などを計上いたしました結果、13億4000万円（前年同期比8億5700万円、39.7%減）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

(国内食品事業)

『家庭用食品』及び『業務用食品』では、わかめ関連商品は、被災による一部商品の販売休止や供給量の低下を余儀なくされた結果、カットわかめ、わかめスープに加え調理海藻類など取り扱い品目全般の売上が前年同期から大幅に落ち込みました。また市販ドレッシングは、平成23年2月に発売した「くせになるうま塩」に加え8月に発売した「セレクトィあめ色玉ねぎ」が高評価を得るものの、わかめ関連商品と同様に供給量の低下が影響し、売上が前年同期を下回りました。

『加工食品用原料等』では、改良剤製品は、震災特需の反動により第2四半期以降の荷動きが鈍化したことから、売上が前年同期と横ばいで推移しました。また前連結会計年度にて製造・販売を終了した「加糖餡（あん）」が対前年同期での売上減少要因となっています。

この結果、当セグメントの売上高は、前年同期から48億8400万円（11.3%）減少した383億円となりました。

(国内化成品その他事業)

『化成品』では、デジタル家電・自動車部品分野向けの添加剤は、震災の影響をうけた複数の取引先企業が生産調整を行うなかで、第2四半期以降は回復基調を示すものの、売上が前年同期を下回りました。また主力製品である「オレフィン用添加剤」は、工業フィルム用（帯電防止剤）が伸長したものの、取引先企業の被災による食品ラップ用（防曇剤）の大幅な減少により、売上が前年同期を下回りました。

『その他』の事業では、震災の影響により飼料用油脂の売上が前年同期を下回りました。

この結果、当セグメントの売上高は、前年同期から2億3900万円（5.2%）減少した44億2000万円となりました。

(海外事業)

円高の進行に加え、欧州地域における金融不安の深刻化により各地域が景気の下振れリスクを内包するなかで、改良剤製品では、化成品分野のグローバル展開に伴う積極的な新規拡販などにより、東南アジアから中近東などを担当する「シンガポール」や中国を担当する「上海」の販売会社が牽引した結果、売上が前年同期を上回りました。また中国の青島福生食品有限公司で取り扱う水産加工品につきましても、欧州向けの出荷が引き続き増加いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は、前年同期から22億85百万円（19.6%）増加した139億72百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当四半期連結会計期間末の総資産は851億48百万円となり、前連結会計年度末に比べ26億98百万円増加しました。主な増加は受取手形及び売掛金20億16百万円、たな卸資産9億87百万円、有形固定資産6億92百万円であり、主な減少は現金及び預金15億6百万円であります。

負債は299億69百万円となり、前連結会計年度末に比べ26億60百万円増加しました。主な増加は支払手形及び買掛金17億75百万円、その他流動負債（設備投資にかかる支払債務の増加など）18億18百万円、短期借入金8億83百万円であり、主な減少は未払法人税等10億25百万円、引当金5億33百万円であります。なお、引当金には、東日本大震災で被災した固定資産の原状回復費用等の支出に備えた損失見積り額88百万円が含まれています。

純資産は551億78百万円となり、前連結会計年度末に比べ37百万円増加しました。主な増加は四半期純利益の計上13億4百万円であり、主な減少は剰余金の配当8億15百万円、円高による為替換算調整勘定（在外子会社の財務諸表の円換算に伴う差額）5億16百万円であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の連結業績予想につきましては、平成23年10月27日に公表いたしました予想数値を修正しております。詳細につきましては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,313	15,807
受取手形及び売掛金	17,579	19,596
有価証券	814	815
商品及び製品	4,642	5,685
仕掛品	2,977	2,755
原材料及び貯蔵品	4,900	5,067
その他	1,827	2,457
貸倒引当金	△5	△16
流動資産合計	50,051	52,168
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	10,494	10,923
機械装置及び運搬具（純額）	6,519	6,840
その他（純額）	4,061	4,003
有形固定資産合計	21,075	21,767
無形固定資産	746	711
投資その他の資産		
投資有価証券	9,050	9,118
その他	1,543	1,397
貸倒引当金	△16	△16
投資その他の資産合計	10,577	10,499
固定資産合計	32,398	32,979
資産合計	82,449	85,148

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,152	9,928
短期借入金	7,833	8,717
未払法人税等	1,154	129
引当金	824	290
その他	4,977	6,795
流動負債合計	22,943	25,861
固定負債		
長期借入金	716	314
退職給付引当金	1,148	1,589
その他	2,500	2,204
固定負債合計	4,366	4,108
負債合計	27,309	29,969
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,537	2,537
資本剰余金	2,466	2,466
利益剰余金	51,715	52,204
自己株式	△2,578	△2,578
株主資本合計	54,141	54,629
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,083	2,165
繰延ヘッジ損益	△16	△13
為替換算調整勘定	△1,391	△1,908
その他の包括利益累計額合計	676	243
少数株主持分	323	305
純資産合計	55,140	55,178
負債純資産合計	82,449	85,148

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	59,024	56,131
売上原価	40,177	40,447
売上総利益	18,846	15,683
販売費及び一般管理費	14,158	13,343
営業利益	4,687	2,340
営業外収益		
受取利息	29	31
受取配当金	265	263
為替差益	—	117
その他	112	131
営業外収益合計	407	543
営業外費用		
支払利息	237	264
その他	68	27
営業外費用合計	306	292
経常利益	4,788	2,591
特別利益		
固定資産売却益	1	20
投資有価証券売却益	689	0
受取補償金	—	274
その他	73	—
特別利益合計	764	294
特別損失		
固定資産売却損	0	3
固定資産除却損	19	75
投資有価証券評価損	0	110
自主回収関連費用	1,375	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	261	—
災害による損失	—	412
その他	2	—
特別損失合計	1,660	601
税金等調整前四半期純利益	3,892	2,285
法人税等	1,710	958
少数株主損益調整前四半期純利益	2,181	1,326
少数株主利益	19	22
四半期純利益	2,161	1,304

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,181	1,326
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△625	81
繰延ヘッジ損益	△27	△0
為替換算調整勘定	△714	△551
その他の包括利益合計	△1,367	△470
四半期包括利益	814	856
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	823	871
少数株主に係る四半期包括利益	△9	△15

- (3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

- (4) セグメント情報等
(セグメント情報)

- I 前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内 食品事業	国内化成品 その他事業	海外事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	43,169	4,642	11,212	59,024	—	59,024
セグメント間の内部売上高 又は振替高	15	—	474	489	(489)	—
計	43,184	4,642	11,686	59,513	(489)	59,024
セグメント利益	3,929	585	450	4,966	(278)	4,687

(注) 1. セグメント利益の調整額には、のれんの償却額△6百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△227百万円、棚卸資産の調整額△44百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

- II 当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内 食品事業	国内化成品 その他事業	海外事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	38,283	4,402	13,444	56,131	—	56,131
セグメント間の内部売上高 又は振替高	16	—	527	543	(543)	—
計	38,300	4,402	13,972	56,674	(543)	56,131
セグメント利益	1,816	301	389	2,507	(167)	2,340

(注) 1. セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△222百万円、棚卸資産の調整額54百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。